

# こころ21だより

会報 第32号

2016年(平成28年)9月12日発行

事務局

〒730-0856

広島市中区河原町7-2 徒然社内

TEL 082-292-4507 (金子)

FAX 082-292-4508

E-mail: kokoro21@tsure20.co.jp

NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21

発行責任者/理事長 岸房康行

～ 創立10周年記念事業 ～

## フォーラム「家族を育む弁当の日」開催

子どもたちの体験活動は豊かな心を育む取り組みとして注目されています。しかし、便利な社会は体験の機会を奪っています。食生活も外食や中食の増加など手作りの料理は減少し、子どもたちの体験の機会も減少しています。「弁当の日」は、子どもたちに体験の機会を与え、家族の絆をより強いものにしていきます。このフォーラムを通じ、子どもたちに豊かで多彩な体験活動の機会を与えることの重要性を再認識していただきたいと思います。皆さまのご来場をお待ちします。

### 開催要領

- ・日時/平成28年10月29日(土)  
午後1時～3時30分(開場12時30分)
- ・場所/合人社ウェンディひと・まちプラザ  
(広島市まちづくり市民交流プラザ)  
〒730-0036 広島市中区袋町6-36  
北棟6階 マルチメディアスタジオ  
☎082-545-3911(代表)
- ・主催/NPO法人こころ21  
(心豊かな家庭環境をつくる広島21)
- ・後援/広島県
- ・協力/広島女学院大学
- ・定員/100人 事前申込制(先着順)
- ・申し込み方法/電話または同封の「参加申込書」で事務局まで
- ・申し込み締切日/平成28年10月26日(水)

### スケジュール

- 司会・進行 NPO法人理事 木時 寿子
- 13:00～ 開会あいさつ  
NPO法人理事長 岸房 康行
- 13:05～ 講演「家族を育む弁当の日」  
子どもが作る「弁当の日」提唱者 竹下 和男
- 14:35～ 質疑応答
- 15:05～ 学生が考案した「地場産物」を使用した  
レシピの紹介 広島女学院大学 学生
- 15:25～ 閉会あいさつ  
NPO法人副理事長 野坂 忠守

同時開催

### 第5回 レモンとリンゴの食育サミット 「食育から健康を考える」

開催時間/10:00～12:30

主催/食育サミット研究会

同送チラシ参照



竹下 和男氏

親は手伝わないでと保護者に訴えて、献立から片付けまですべて子どもに取り組ませる「弁当の日」の講演・執筆活動をしている。

2001年に香川県・滝宮小学校でスタートした「子どもが作る弁当の日」は、2015年度末で実践校は1800校を超えている。2003年に「地域に根ざした食育コンクール」で農林水産大臣賞を受賞した。2014年に第8回キッズデザイン賞、消費者担当大臣賞を受賞した。2015年、ミラノ万博日本館では世界に向けて弁当の日が紹介され

ている。未来の子どもたちの食と農をよくしていくための優れた教育実践だと評価されたことを喜んでいる。

子どもたち・若者たちの食の乱れは、おとなたちの責任だ。食べることの大切さを学ぶ機会として、弁当の日が全国でさらに広がることを願っている。

「子育ては楽しい」「子どもに今よりいい社会を残したい」という大人を増やしたいのです。

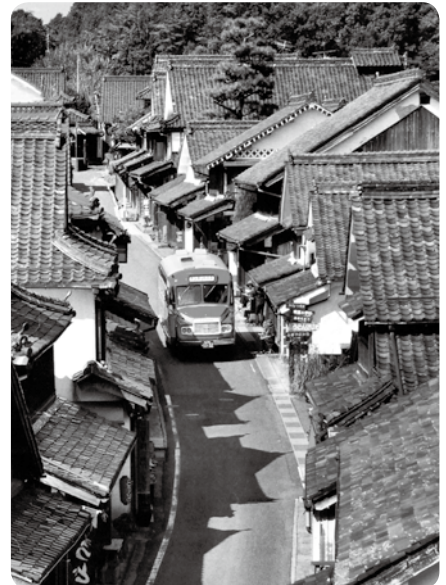
(ホームページより)

# 城下町・東城まちなみぶらり散歩ギャラリー & ベンガラのみち備中・吹屋ふるさと村を訪ねて

庄原市東城町の「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」と備中・吹屋ふるさと村でベンガラ館、広兼邸、郷土館、銅山坑道、旧片山家住宅などを訪ねます。昼食は町家「山楽荘」(国登録有形文化財)で、地元の食材料理を楽しみます。



庄原市 三楽荘



吹屋ふるさと村、町並みを走るボンネットバス

## 開催要領

- 実施日：平成28年11月5日(土) 雨天決行
- 集合：広島県庁・北側 午前7時30分
- 交通：貸切りバス(中型サロン)
- 参加費：8,500円(昼食代を含む)
- 募集人員：27人(先着順)
- 申込先：NPOこころ21事務局まで  
TEL 082-292-4507 FAX 082-292-4508  
Eメール / kokoro21@tsure20.co.jp

## こども音楽体験教室

7月12日(火)  
上安保育園

広島文化学園大学の協力をいただいた上安保育園の音楽体験教室を7月12日(火)開催しました。この園は昨年に続いて2回目。高橋千絵先生のオーボエと末永雅子先生のピアノの演奏で、子どもたちを音楽の世界に引き込みました。

これまで、音楽体験教室は開催園を毎回変えていましたが、今回の上安保育園、今後予定している舟入保育園、山本保育園は

これまでに実施経験のあるところ です。

これは、われわれ側の開催準備労力の削減と「NPO法人こころ21」のブランドを浸透させたいと考えての方向転換です。私たちは活動を通して、ブランドを広く認識してもらわなければならないのですが、これで効果が出てくると思います。

今回の開催に当たっては、公益財団法人マツダ財団からの支援をいただきました。



当日配布されたプログラム。子どもが持ち帰って、家族の話題になってほしいとつくりました。

ホール片隅からオーボエの音色が聞こえてくると同時に、華やかなステージ衣装で現れた高橋先生に園児たちは目を輝かせ演奏に引き込まれていました。体験コーナーでは緊張した面持ちで本物の楽器に触れ、照れながらも誇らしげでした。退室する園児一人ひとり全員が本物の楽器(オーボエ)に触れさせてもらった、満足そうな笑顔が印象的でした。  
(窪田晴美)



## 聴く力と心を育む「音楽アウトリーチ」

高橋 千絵

私はこれまでにリサイタル、吹奏楽、オーケストラ、オペラなどさまざまな音楽会に出演してきました。その中でも保育園や幼稚園などの子どもの施設、老人ホームや病院など、普段あまり生の音楽を聴く機会のない方々のところに向かい出ていく音楽活動は、大学を卒業してからずっと続けてきた、私にとって一番の柱となる大切な活動といえます。

「音楽アウトリーチ」にはいろいろな解釈があり、出張演奏の総称といった捉え方もありますが、私が広島文化学園大学で音楽を学ぶ学生たちに伝えている「音楽アウトリーチ」の理念はもっと深いところにあります。出張演奏は音楽を専門で勉強していなくても、趣味で楽器をされている方、吹奏楽部などに所属する中高生、サークル活動をされている一般団体の方々など、どなたにでもできる活動といえます。出張演奏により子どもたちが生の音楽に触れたり、いつも歌っている童謡や唱歌、子どもたちの好きなアニメの曲などを、生演奏に合わせて楽しく一緒に歌ったり踊ったりすることは、「知っている曲が聴けてうれしい。一緒に歌って楽しい」という喜びとなり、子どもたちにとって素晴らしい体験になっていることは確かです。

では、プロの音楽家である私たちができる音楽活動は何でしょうか。私は本物の音楽を「聴く」、演奏者や楽器を近くで「見る」、楽器などに「触れる（体験）」活動を通して、子どもたちの「聴く力」を育て、生涯にわたって音楽を身近に楽しんでいくための「こころ」を育む「音楽アウトリーチ」活動こそが、音楽家の果たす役割だと感じています。音楽アウトリー

チには、「場面に合わせた絶妙な音色の変化。強弱やテンポの違いによる表情の違い。音が消える時の余韻の美しさ。キラキラとした繊細な響き」など、音楽の聴き方を知ること



音楽の本当の素晴らしさを味わう喜び。「華麗なテクニック。ダイナミックな体の動き。人生をかけて音楽に向き合う姿」などを間近で見る驚き。そして「楽器に触れるなどの体験活動を通して楽器の仕組みや面白さ、音が出る不思議」などに直面する喜びがあります。子どもたちの可能性は無限です。音楽の「聴き方」が分かれば、本格的な作品でも集中してしっかりと最後まで聴くことができます。故井上ひさしの名言「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく」は、音楽アウトリーチの真髄に近いと感じています。子どもたちの知らない本格的な作品であっても、聴くポイントを絞り分かりやすく伝えることで、深い部分で音楽を味わう面白さを知ることができます。これからも子どもたちの「聴く力」を育て、生涯にわたって音楽を身近に楽しんでいくための「こころ」を育む「音楽アウトリーチ」を推進していきたいと思います。

(広島文化学園大学学芸学部音楽学科講師)  
(オーボエ奏者)

# カレーづくり大会 in 山本

7月3日(日) 安佐南区 山本小学校グラウンド

山本学区で7月3日に昨年に続いて2回目の大会が開催されました。

会のねらいの一つ、「大人は口を出さず、手を出さず」の考え方が保護者にもだいぶ浸透してきたようです。担当の指導者が言われるのに、保護者が口にチャックのまねをして、口を出さない確認をお互いにするようになったのだと。

私たち NPO の当初の目的をよく理解していただいていることに感謝です。

会は決して段取り良く進んだとは言えませんが、段取りの悪い中で主人公の子どもたちがいろいろな体験ができていたように思いました。

また、大会の特長はノコを使ったり、オノで木を割ったりすることでした。これまでは子どもにそれを体験させようと考えていましたが、よく考えると、今の保護者でもその体験は珍しくなっています。子どもたちがカレーを作っている間に大人がそれを楽しむのもいいのかと思います。大人が上手にやるのを子どもが見つめるのも、いい背中の見せ方かと思った次第です。(金子 敏郎)



**原稿を募集します** 当 NPO 法人は、8月21日に設立10周年を迎えました。この間、シンポジウム、フォーラムの開催、カレーづくり大会、こどものための音楽プロジェクト、会員研修・日帰りツアー、子育て世代のためのクッキング教室など、心豊かな家庭環境づくりを目指して、地道な活動を続けてきました。

会報33号(12月下旬発行予定)では、10年間の活動

を記念して、特集ページを組む予定です。つきましては下記要領で原稿を募集します。ご応募をお待ちします。

## 要領

- ・内容／例えば、シンポジウム、バスツアーなどイベントに参加したときの感想など
- ・文字数／800字以内
- ・写真／原稿に関連した写真があれば添付してください
- ・締切日／11月15日(火)
- ・送り先／NPO事務局へ郵送かメールで

## お知らせ

今回から会員の皆さまが企画されたイベントや、出演される公演などのPRのためにチラシ、パンフレットなどを会報と同送します。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。なお、次回の会報33号は、12月下旬に発行の予定です。

新入会員 個人会員 壬生 千恵子 東京都杉並区

**編集後記** わが法人の設立10周年ということで、フォーラムの開催、記念特集の作成計画などなかなか多忙です。もちろん、これまでの音プロ事業やカレー作りでの子育て支援事業も継続して行わなくてはなりません。

会員皆さまとの接点にと考えているこの会報も今回で32号となりました。振り返ってみても、いいことばかり記事としているようにも思いますが、実情は結構多くの問題を抱えながらやっています。

1回の発行に向けて2カ月前くらいから原稿の方向、原稿の依頼などを始め、その後、編集・制作です。編集作業は、ページの構成や文字の校正もあり、納期の攻勢を浴びてストレスも相当たまってしまいます。

これから、10周年記念特集を作成しようとしていますが、大変でもあり面白くもあります。

苦勞と楽しさを一緒に味わいたい方はいらっしやいませんか。歓迎します。(金子 敏郎)